
西東京市第 2 次総合計画（後期基本計画）
総論・各論【素案】

<総論>

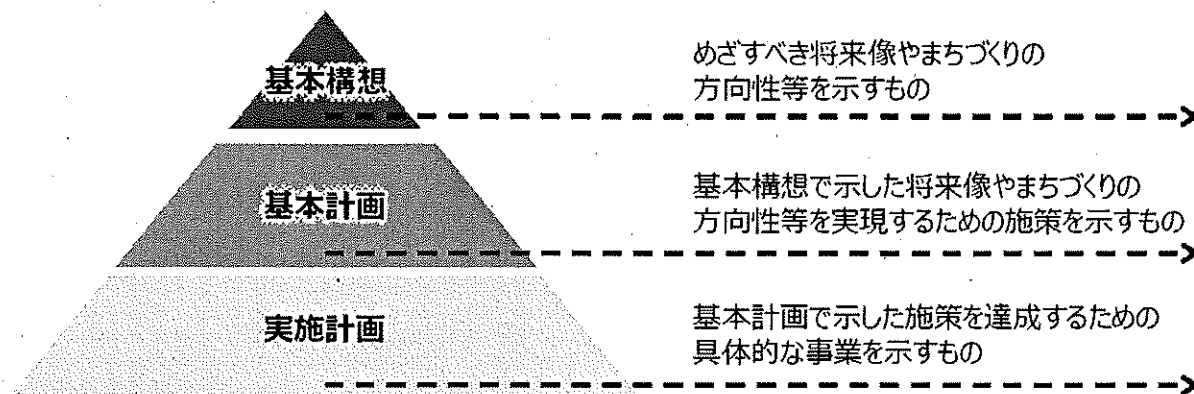
1. 計画の位置づけ

この基本計画は、基本構想で示した基本理念と将来像を実現するため、施策の具体化・体系化を図り、各分野における現状と課題、目標や成果指標を示した上で、施策推進のための視点を明らかにするものです。

また、各行政分野における個別計画の整合性を図るための指針となるものです。

なお、本計画で示した施策体系に基づき、具体的な事業計画として、3カ年を期間とする実施計画を毎年度策定し、財政の裏づけをもって計画された事業を実行していきます。

基本構想、基本計画、実施計画の関係は次の図のようになります。



2. 計画の期間

基本計画の期間は、基本構想に基づき、平成 26 (2014) 年度から平成 35 (2023) 年度までの 10 年間とします。なお、社会経済情勢の変化や基本計画事業の実施状況、施策評価の結果、新たな市民ニーズ等を踏まえ、平成 31 (2019) 年度からの後期 5 年間の計画として、本後期基本計画を定めます。

	平成 26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年
基本構想	→									
基本計画	→ 前期基本計画					→ 後期基本計画				
実施計画	→ 3カ年を計画期間として毎年度策定									

3. 計画の指標

(1) 人口の推移

平成 49 (2037) 年までの本市の人口は、「西東京市人口推計調査報告書」(平成 29 年) で推計しています。この推計調査は、修正コーホート要因法¹を用い、平成 24 (2016) 年から平成 29 (2017) 年の 5 年間に於ける、大規模住宅開発による転入の影響を除外した場合の社会動態の傾向が、推計期間においても続くものと仮定しています。

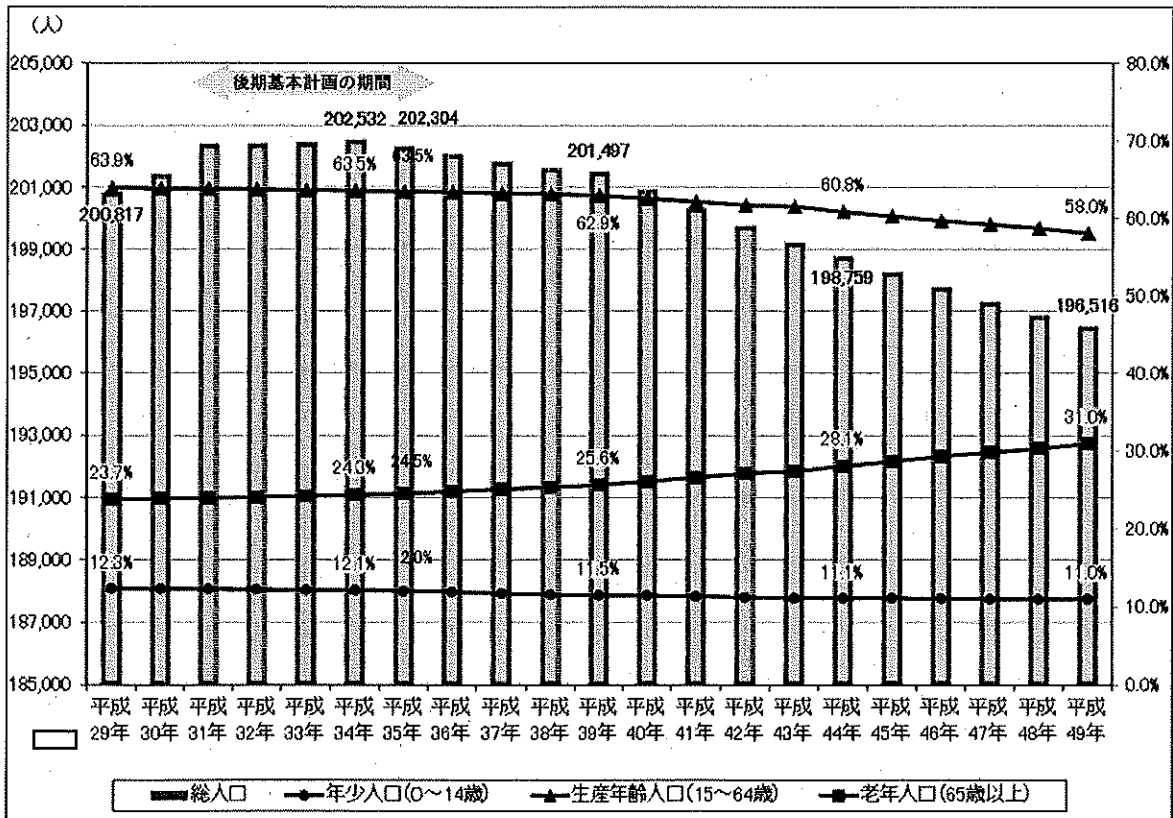
調査報告書によれば、本市の人口は平成 34 (2022) 年まで増加し続けますが、平成 34 年に 202,532 人となった後に緩やかな減少に転じ、この計画の目標年度(平成 35 (2023) 年度)における人口は、202,304 人になると想定されます。

年齢 3 区分ごとの傾向をみると、年少人口(0 歳～14 歳)は、平成 29 年の 24,376 人(12.3%)が、平成 35 年には 24,304 人(12.0%)となる見込みです。

生産年齢人口(15 歳～64 歳)は、平成 29 年の 128,399 人(63.9%)が、平成 31 年から減少に転じ、平成 35 年には 128,387 人(63.5%)となる見込みです。

老年人口(65 歳以上)は増加傾向にあり、平成 29 年の 47,682 人(23.7%)が、平成 35 年には 49,613 人(24.5%)となる見込みです。

図表 西東京市の将来推計人口



(資料) 西東京市人口推計調査報告書(平成 29 年 11 月)

¹ コーホートとは、同じ時期に出生した集団のことであり、コーホート要因法とはその集団ごとの時間変化を軸に自然動態と社会動態に分けて人口を推計する方法。

(2) 財政フレーム

※内容は今後とりまとめ予定※

4. これまでの取組と評価

(1) 策定経緯

西東京市では、合併時に策定した新市建設計画（平成 13 年度～平成 22 年度）を包含する形で、平成 16 年 3 月に基本構想・基本計画・実施計画の 3 層構造からなる第 1 次総合計画（平成 16 年度～平成 25 年度）を策定しました。「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を私たちの望み（将来像）として掲げ、市民と行政が連携し、協働によるまちづくりに取り組み、市民一人ひとりがまちを楽しむことができるまちをめざしてまちづくりを推進してきました。

平成 21 年度には前期 5 年間を総括するとともに、社会経済情勢の変化や事業の実施状況、新たな市民ニーズなどを踏まえ、①施策から事業までの関係の明確化、②成果指標及び目標値の導入、③行政評価の視点の導入、④新たな施策の設定の 4 つの点で基本計画の見直しを行い、後期基本計画（平成 21 年度～平成 25 年度）を策定しました。

平成 26 年度には、第 1 次基本構想の理念や施策を踏まえつつ、今後 10 年の西東京市のめざすべき将来像を描き、まちづくりをさらに一歩進めるため、第 2 次基本構想・基本計画を策定しました。

(2) 主な取組及び評価

第 2 次総合計画（前期基本計画）で実施した取組について、成果指標の達成度及び市民意識調査における施策ごとの満足度の結果により、総合的に評価します。

◇市民意識調査

西東京市住民基本台帳に登録された 18 歳以上の男女の中から人口構成比を配慮した上で 5,000 人を無作為抽出し、実施しました。

平成 24 年度：回収数 2,414 票（回収率 48.3%）、有効回答数 2,408 票（有効回収率 48.2%）

平成 27 年度：回収数 2,007 票（回収率 40.1%）、有効回答数 2,004 票（有効回収率 40.1%）

平成 29 年度：回収数 2,191 票（回収率 43.8%）、有効回答数 2,188 票（有効回収率 43.8%）

みんなでつくるまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
み 1-1	「地域活動への支援など市民主体のまちづくりの推進」の取組に対する市民満足度	19.0	%			
み 1-1	自治会・町内会等の加入世帯数	19,186	世帯			
み 1-2	「まちづくりや市政への市民参画など協働のまちづくりの推進」の取組に対する市民満足度	15.0	%			
み 1-2	企業・大学・NPOなどとの協働事業数	130	件			
み 2-1	「人権と平和の尊重」の取組に対する市民満足度	24.0	%			
み 2-1	人権や平和に関する啓発活動・学習活動への参加者数	813	人			
み 2-2	「外国籍市民のサポート体制や国際交流など国際化の推進」の取組に対する市民満足度	16.0	%			
み 2-2	多文化共生に関するボランティアの数	400	人			
み 2-2	外国籍市民への情報提供数	70	情報			

※実績値、達成率、評価ランクについては、平成 30 年 12 月の数値を採用予定※

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
み 2-3	「男女平等参画の推進」の取組に対する市民満足度	19.0	%			
み 2-3	男女平等推進センター「バリテ」登録団体数	20	団体			
み 2-3	男女の固定的性別役割分担意識の解消について、理解のある人の割合	60.0	%			
み 3-1	「市の情報開示・情報公開など開かれた市政の推進」の取組に対する市民満足度	46.0	%			
み 3-1	ホームページのページ閲覧数	17,875	千件			
み 3-2	「行財政改革など健全な自治体の経営」の取組に対する市民満足度	35.0	%			
み 3-2	経常収支比率	90 内	%			

※実績値は、数値の後ろに(*)印があるものは平成●年度数値、それ以外のは平成●年●月の数値を採用しています。
(以下同様)

※評価ランクは、A (達成率 75%以上)、B (50%~74%)、C (50%未満) の3段階で評価しています。(以下同様)

施策に対する市民満足度 (市民意識調査より)

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
み 1-1 市民主体のまちづくりの推進	15.2%	12.1%	18.2%
み 1-2 協働のまちづくりの推進	11.3%	9.2%	14.6%
み 2-1 人権と平和の尊重	20.2%	14.4%	19.5%
み 2-2 国際化の推進	13.3%	11.3%	14.0%
み 2-3 男女平等参画社会の推進	16.7%	12.5%	16.0%
み 3-1 開かれた市政の推進	41.0%	39.6%	42.0%
み 3-2 健全な自治体の経営	30.6%	17.4%	20.6%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、7 施策中 4 施策において市民満足度が向上しています。

創造性の育つまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
創 1-1	「子どもの参画の推進」の取組に対する市民満足度	26.0	%			
創 1-1	青少年育成会における地域活動実施回数	105	回			
創 1-2	「子育て支援の拡充」の取組に対する市民満足度	21.0	%			
創 1-2	待機児童数	50	人			
創 1-3	「学校教育の充実」の取組に対する市民満足度	25.0	%			
創 1-3	地域教育協力者活用事業数	307	件			
創 2-1	「生涯学習環境の充実」の取組に対する市民満足度	30.0	%			
創 2-2	「学習活動 (公民館) の推進」の取組に対する市民満足度	50.0	%			
創 2-2	「学習活動 (図書館) の推進」の取組に対する市民満足度	50.0	%			
創 2-2	公民館事業への参加者数	25,592	人			
創 2-2	図書館の利用者数	1,200	千人			
創 2-3	「スポーツ活動・イベント機会や施設など生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」の取組に対する市民満足度	40.0	%			
創 2-3	スポーツ施設利用者数	784,651	人			
創 2-3	スポーツ施設利用団体数	2,517	団体			

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
創 2-4	「市民文化祭などの文化芸術活動の振興」の取組に対する市民満足度	36.0	%			
創 2-4	文化ボランティアの人数	80	人			
創 2-4	文化ボランティアの活動延回数	270	回			
創 2-4	郷土資料室への年間入場者数	3,000	人			

施策に対する市民満足度（市民意識調査より）

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
創 1-1 子どもの参画の推進	22.4%	14.4%	23.0%
創 1-2 子育て支援の拡充	18.6%	14.6%	21.3%
創 1-3 学校教育の充実	20.1%	14.2%	20.3%
創 2-1 生涯学習環境の充実	24.6%	20.6%	26.0%
創 2-2 学習活動の推進	46.4%	34.5%	40.2%
創 2-3 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	29.9%	28.7%	33.5%
創 2-4 文化芸術活動の振興	32.3%	29.8%	35.6%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、7 施策中 6 施策において市民満足度が向上しています。

笑顔で暮らすまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
笑 1-1	「地域で支えあう地域福祉の推進」の取組に対する市民満足度	21.0	%			
笑 1-1	地域福祉推進員（ほっとネット推進員）の登録者数	400	人			
笑 1-1	福祉サービス第三者評価の対象サービス実施数	85	件			
笑 1-2	「介護予防・介護サービスなど高齢者福祉の充実」の取組に対する市民満足度	26.0	%			
笑 1-2	ささえあいネットワークの協力員の数	1,600	人			
笑 1-2	ささえあいネットワークの訪問協力員の数	360	人			
笑 1-2	地域包括支援センター相談・対応件数	32,000	件			
笑 1-3	「障害者福祉の充実」の取組に対する市民満足度	18.0	%			
笑 1-3	グループホーム等の利用者人数	175	人			
笑 1-3	地域活動支援センター利用者数	310	人			
笑 1-4	「社会保障制度の運営」の取組に対する市民満足度	20.0	%			
笑 1-5	「暮らしの相談機能の充実」の取組に対する市民満足度	22.0	%			
笑 1-5	消費生活講座などの参加者数	800	人			
笑 1-5	消費生活相談件数	1,000	件			
笑 2-1	「健康づくりの推進」の取組に対する市民満足度	30.0	%			
笑 2-1	「地域医療体制の整備」の取組に対する市民満足度	26.0	%			
笑 2-1	がん検診の受診率（胃がん）	5.0	%			
笑 2-1	がん検診の受診率（大腸がん）	33.0	%			
笑 2-2	「団塊の世代や高齢者の生きがいづくりの充実」の取組に対する市民満足度	20.0	%			
笑 2-2	高齢者生きがい推進事業の参加者数（延べ人数）	48,000	人			
笑 2-3	「雇用促進など障害者の社会参加の拡大」の取組に対する市民満足度	12.0	%			
笑 2-3	就労援助事業への登録者数	214	人			

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
笑 2-3	障害者（児）スポーツ事業への参加者数	284	人			

施策に対する市民満足度（市民意識調査より）

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
笑 1-1 地域福祉の推進	17.5%	18.6%	23.3%
笑 1-2 高齢者福祉の充実	21.8%	19.7%	23.6%
笑 1-3 障害者福祉の充実	15.8%	14.7%	18.6%
笑 1-4 社会保障制度の運営	16.0%	15.7%	18.6%
笑 1-5 暮らしの相談機能の充実	18.4%	17.0%	20.0%
笑 2-1 健康づくりの推進	25.1%	23.6%	27.0%
笑 2-2 高齢者の生きがいがづくりの充実	13.9%	13.9%	18.1%
笑 2-3 障害者の社会参加の拡大	8.8%	11.0%	13.8%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、8 施策中 8 施策において市民満足度が向上しています。

環境にやさしいまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
環 1-1	「みどりの保全・活用」の取組に対する市民満足度	38.0	%			
環 1-1	公園ボランティア登録会員数	800	人			
環 1-2	「公園・緑地などみどりの空間の創出」の取組に対する市民満足度	43.0	%			
環 1-2	補助金の交付を受けて造成された生垣の長さ（累計）	2,450	m			
環 1-2	「花いっぱい運動」で年間に植え付けした花壇数	50	か所			
環 2-1	「環境学習の場や機会の提供など環境意識の向上」の取組に対する市民満足度	21.0	%			
環 2-1	環境マネジメントシステム認証取得の事業所数	40	か所			
環 2-1	環境フェスティバルの参加者数	7,200	人			
環 2-2	「ごみの減量化やりサイクルの推進など循環型社会の構築」の取組に対する市民満足度	56.0	%			
環 2-2	一人当たりのごみ収集量（ごみ原単位）	559	g			
環 2-2	資源化率	35.9	%			
環 2-3	「公害対策など生活環境の維持」の取組に対する市民満足度	30.0	%			
環 2-3	公害の苦情受付件数	55	件			
環 2-4	「再生可能エネルギー、省資源・省エネルギーなど地球温暖化対策の推進」の取組に対する市民満足度	20.0	%			
環 2-4	市内の温室効果ガス排出量（千 t-CO2）	385.1	-			
環 2-4	公共施設・公用車から排出される温室効果ガスの総排出量（t-CO2）	9,600	-			

施策に対する市民満足度（市民意識調査より）

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
環 1-1 みどりの保全・活用	35.6%	35.5%	43.4%
環 1-2 みどり空間の創出	40.3%	40.9%	45.2%
環 2-1 環境意識の向上	17.4%	17.1%	23.2%
環 2-2 循環型社会の構築	52.8%	51.6%	49.5%
環 2-3 生活環境の維持	24.8%	25.1%	29.0%
環 2-4 地球温暖化対策の推進	14.8%	15.5%	23.5%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、6 施策中 5 施策において市民満足度が向上しています。

安全で快適に暮らすまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
安 1-1	「まちなみや景観の整備など住みやすい住環境の整備」に対する満足度	28.0	%			
安 1-1	地区計画決定数（累積）	11	地区			
安 1-2	「円滑な車両交通のための道路・交通網の整備」の取組に対する市民満足度	31.0	%			
安 1-2	市内の都市計画道路整備率	46.0	%			
安 2-1	「災害に強いまちづくり」の取組に対する市民満足度	20.0	%			
安 2-1	防災市民組織の数	120	団体			
安 2-1	総合防災訓練等への参加者延べ人数（年間）	6,000	人			
安 2-2	「子どもの見守り活動など防犯・交通安全の推進」の取組に対する市民満足度	25.0	%			
安 2-2	刑法犯の発生件数（西東京市）	削減	件			
安 2-2	交通事故発生件数（西東京市内）	削減	件			
安 2-3	「市の危機管理体制の整備」の取組に対する市民満足度	15.0	%			

施策に対する市民満足度（市民意識調査より）

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
安 1-1 住みやすい住環境の整備	24.4%	26.1%	29.0%
安 1-2 道路・交通網の整備	26.7%	25.7%	28.8%
安 2-1 災害に強いまちづくり	15.4%	17.7%	21.6%
安 2-2 防犯・交通安全の推進	21.9%	23.6%	27.4%
安 2-3 危機管理体制の整備	10.8%	13.9%	17.3%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、5 施策中 5 施策において市民満足度が向上しています。

活力と魅力あるまちづくり

成果指標の達成度

施策	指標名	目標値	単位	実績値	達成率	評価ランク
活 1-1	「産業の振興」の取組に対する市民満足度	16.0	%			
活 1-1	市内における農業産出額（農家1戸あたり平均）	4,033	千円			
活 1-1	市内の企業等との連携による取組数	2	件			
活 1-2	「新産業の育成や企業誘致の推進」の取組に対する市民満足度	8.0	%			
活 1-2	創業支援事業により起業した件数	15	件			
活 1-2	ソフトなものづくり産業事業所の数	300	箇所			
活 2-1	「地域資源を活用したまちの魅力創造」の取組に対する市民満足度	19.0	%			
活 2-1	みどりの散策路めぐりへの参加者数	400	人			

施策に対する市民満足度（市民意識調査より）

施策項目	平成 24 年度	平成 27 年度	平成 29 年度
活 1-1 産業の振興	13.4%	15.3%	20.9%
活 1-2 新産業の育成	6.5%	6.7%	10.8%
活 2-1 まちの魅力の創造	13.5%	15.1%	20.1%

【評価】平成 24 年度と平成 29 年度を比較した市民意識調査では、3 施策中 3 施策において市民満足度が向上しています。

5. 今後のまちづくりに関する意見

基本計画の策定にあたり、「市民意識調査」を実施し、本市のまちづくり全般についての市民の考えや意見を把握しました。また、「まちづくり若者サミット」、「企業・団体ヒアリング」、「市民ワークショップ」などの市民参加による意見集約を行い、今後のまちづくりに関する市民の意向を把握しました。

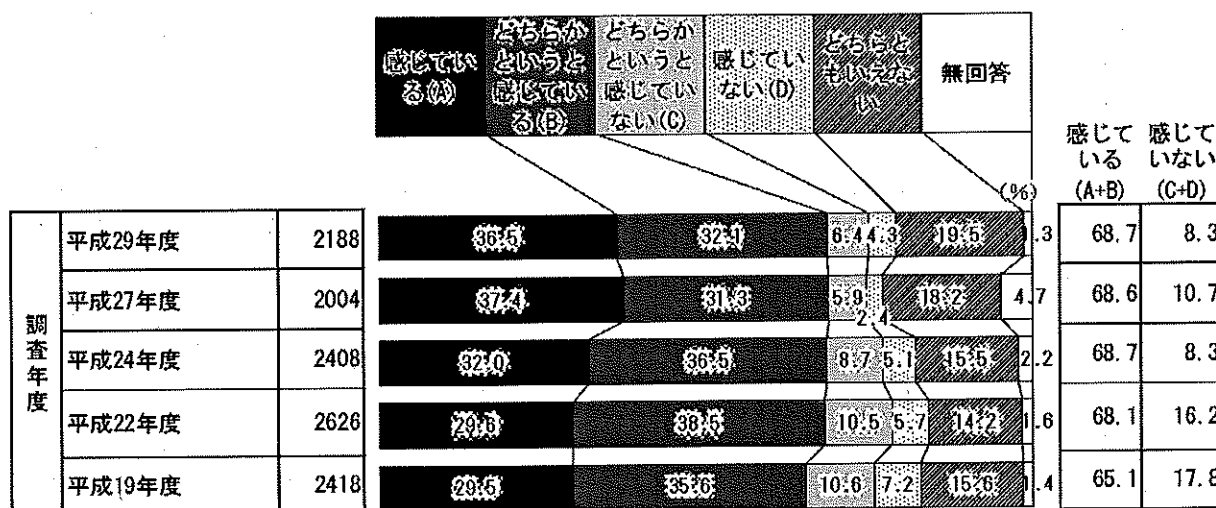
(1) 市民意識調査

平成 29 年 6 月に実施した市民意識調査から得られた意見のうち、まちづくり全般についての代表的な項目の結果は以下となります。

① 西東京市への愛着度

西東京市に愛着を「感じている」と「どちらかというと感じている」を合わせると 68.6%であり、平成 19 年度調査の 65.1%から 3.5 ポイント多くなっている。

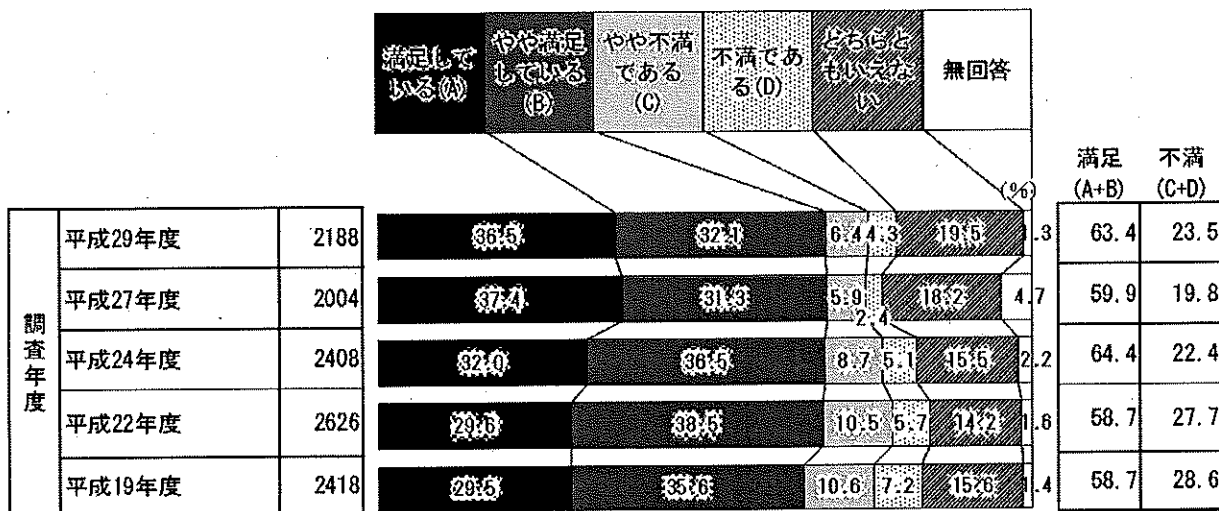
一方、西東京市に「愛着を感じていない」、「どちらかというと感じていない」を合わせると 10.7%であり、平成 19 年度の 17.8%から 7.1 ポイント少なくなっている。



② 日ごろの住み心地とその理由

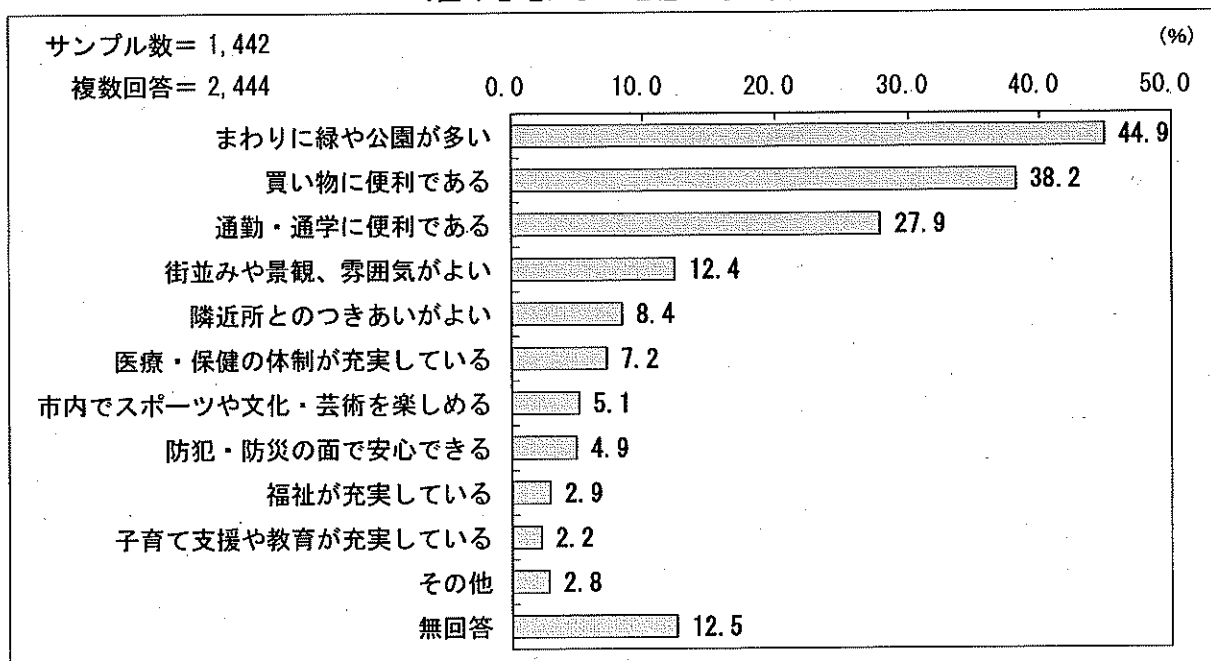
日ごろの住み心地に「満足している」と「やや満足している」を合わせると63.4%であり、平成19年度調査の58.7%から4.7ポイント多くなっている。

一方、日ごろの住み心地に「不満である」、「やや不満である」を合わせると23.5%であり、平成19年度の28.6%から5.1ポイント少なくなっている。



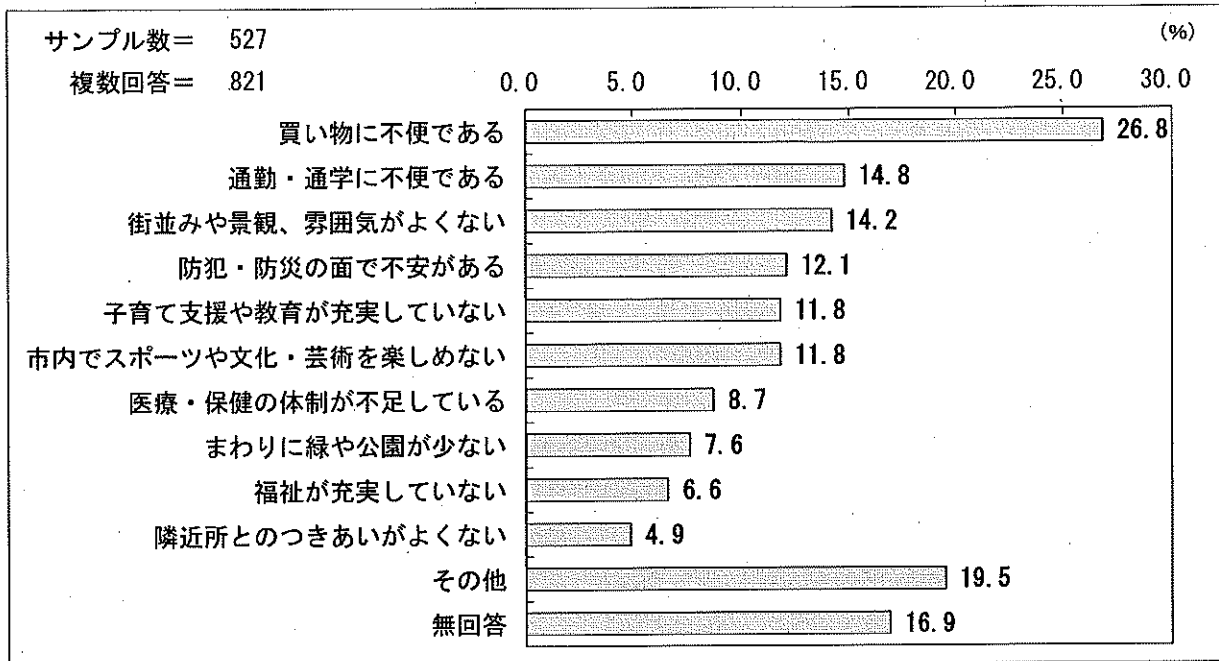
日ごろの住み心地に「満足している」または「やや満足している」理由としては、「まわりに緑や公園が多い」が44.9%で最も多く、次いで「買い物に便利である」が38.2%、「通勤・通学に便利である」が27.9%となっている。

<住み心地がよいと感じる理由>



一方で、日ごろの住み心地に「不満である」または「やや不満である」理由としては、「買い物に不便である」が26.8%で最も多く、次いで「通勤・通学に不便である」が14.8%、「街並みや景観、雰囲気がよくない」が14.2%となっている。

＜住み心地がよくないと感じる理由＞



(2) 市民参加の取組

各種の市民参加の取組を通じて、「今後のまちづくり」や「理想のまち」についてのご意見をいただきました。

① まちづくりシンポジウム

「まちづくりシンポジウム」では、総合計画策定審議会委員による講演や、今後のまちづくりに向けた意見交換、まちづくり若者サミットによる発表などを行いました。

② ポスターセッション、説明会

市内4か所で、後期基本計画（素案）の内容を紹介するポスターセッションを開催し、来場者向けにアンケートを行いました。また、後期基本計画（素案）についての説明会を行い、参加者よりご意見をいただきました。

③ まちづくり若者サミット

本市に在住・在学・在勤している18歳から39歳の男女をメンバーとする「まちづくり若者サミット」を実施し、市の強み・弱みや、若者が住みたい・住み続けたいまちにするために必要な取組アイデア等を検討し、市への提案としてとりまとめていただきました。

④ 企業・団体ヒアリング

本市で活動している企業・団体を対象として「企業・団体ヒアリング」を実施し、市の魅力や課題、行政との協働、今後のまちづくりに向けた取組アイデア等についてうかがいました。

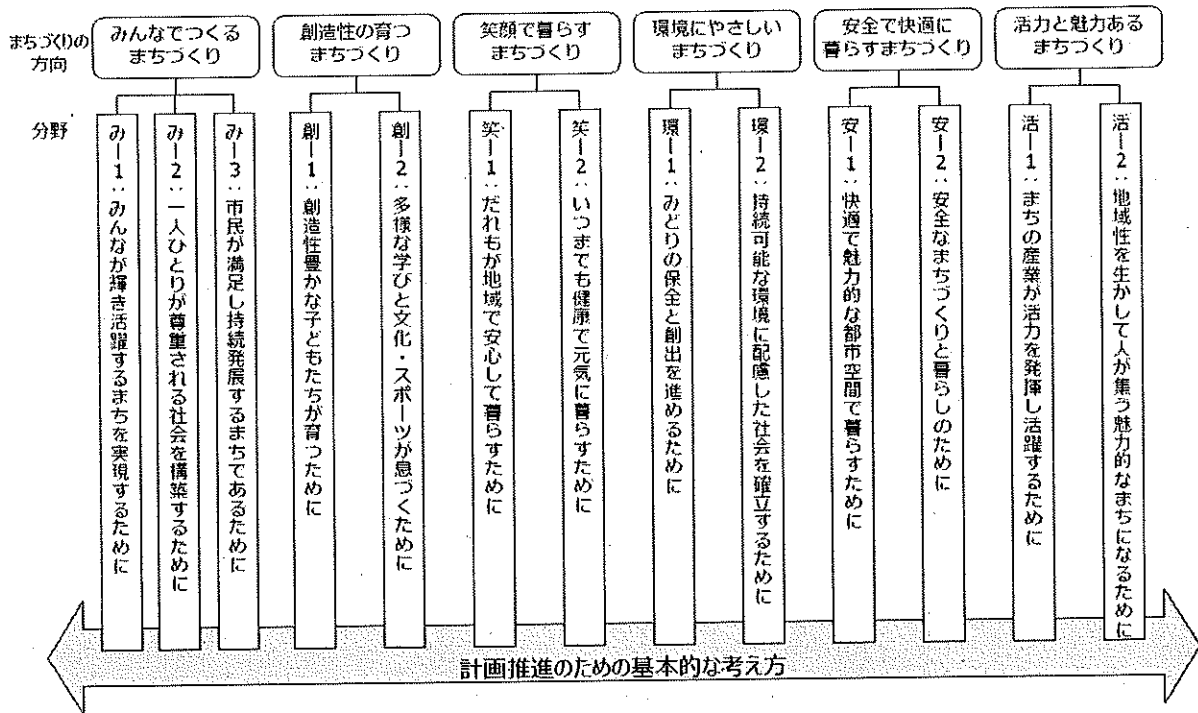
◇市民参加の取組から得られた主な意見

まちづくりの方向	取組	主な意見（重要と考える取組）
みんなで作る まちづくり	シンポジウム	
	ポスターセッション、説明会	
	まちづくり若者サミット	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が集い、交流できる拠点づくり
	企業・団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 外出や地域活動を促すためのコミュニティづくり 子どもをきっかけとした保護者同士の交流及び地域と子育て世代のつながり強化 企業・団体の活動周知に向けた、関係者以外でも立ち寄りやすい活動の発表の場づくり
創造性の育つ まちづくり	シンポジウム	
	ポスターセッション、説明会	
	まちづくり若者サミット	<p><子育て支援・教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 多世代が集える広場を活用した、子どもが楽しめるイベントの実施 <p><芸術文化、スポーツ></p> <ul style="list-style-type: none"> 移動図書館や野外映画など、大人も満足できる知的な楽しみ方のできる公園づくり 広場空間を活用したダンス・音楽イベントの開催や、プロジェクト・マッピング、スポーツ観戦を楽しめるパブリックビューイング等の実施
	企業・団体ヒアリング	<p><子育て支援・教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校等を活用した放課後の子どもの居場所づくり ボール遊びができる公園整備等の子どもの遊び場づくり、NPO等と連携した有効利用方法の検討 自治体のプロモーションやキャンペーン等による民間の子育て支援の取組促進 <p><芸術文化、スポーツ></p> <ul style="list-style-type: none"> 田無駅・田無庁舎周辺など、市民等がアクセスしやすい文化拠点の整備 公民館等の既存施設を活用した芸術文化活動の場づくり
笑顔で暮らす まちづくり	シンポジウム	
	ポスターセッション、説明会	
	まちづくり若者サミット	<ul style="list-style-type: none"> 公園等を活用した健康になれるイベントの開催（ヨガなど）
	企業・団体ヒアリング	<p><医療・健康></p> <ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医やかかりつけ薬局による予防医療の取組の促進 市内の学校における薬物教育のさらなる推進 市内のアスリートと連携したスポーツによる身体づくりの取組 <p><福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> 若者向けの地域の拠点づくり 社会福祉協議会が持つネットワーク等の資源の活用及び機能の強化 障害者個人の活動・チャレンジの機会づくり
環境にやさしい	シンポジウム	
	ポスターセッション	

まちづくりの方向	取組	主な意見（重要と考える取組）
まちづくり	シヨン、説明会	
	まちづくり若者サミット	<ul style="list-style-type: none"> 行政と市民の協働による公園づくり おしゃれなカフェ等の併設による公園の魅力づくり 公園を活用した多様なイベントの開催（産直マルシェ、夜に楽しめる野外イベントなど）
	企業・団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民の公園づくりへの参加 クラウドファンディングなどの新しい資金獲得のしくみも視野に入れた、民間の事業としての公園活用 ごみ収集車を活用した市内道路の補修箇所等のモニタリング
安全で 快適に暮らす まちづくり	シンポジウム	
	ポスターセッション、説明会	
	まちづくり若者サミット	<ul style="list-style-type: none"> イルミネーション等を活用した一体感のある景観づくり
	企業・団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 交通擁護員の増員等、子どもの交通安全対策の充実 公共交通の利用促進に向けた意識醸成（児童への教育など）
活力と魅力ある まちづくり	シンポジウム	
	ポスターセッション、説明会	
	まちづくり若者サミット	<p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> 西東京市で生産している多品目の野菜・果物を活かしたヘルシーな商品づくり（スムージーなど） 地産地消のおしゃれなカフェや、産直マルシェの開催による地元農業の活性化 <p><にぎわい創出></p> <ul style="list-style-type: none"> にぎわいと交流の拠点となる駅前広場の整備 商店街と連携した駅前の活性化 <p><情報発信・プロモーション></p> <ul style="list-style-type: none"> 統一されたロゴやモチーフ、マスコットキャラクターを使った、特産品等の一体的なPR
	企業・団体ヒアリング	<p><産業・しごと></p> <ul style="list-style-type: none"> 西東京市に住み、西東京市で働くことのできる環境づくり（創業支援、地場産業の育成、介護士・保育士等の市内在住・在勤支援など） 空き家・空き店舗の活用（創業支援、商農連携など） 民間事業者による公共サービスの提供（保育施設など）や公共施設・市有地活用の推進 民間施設を活用した公共サービスの提供 <p><情報発信・プロモーション></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政情報・地域情報の発信方法の改善（ターゲット別に情報発信の内容・ツール・発信時間帯等を工夫、市民目線での地域情報の発信など） 駅などの民間施設における行政情報・地域情報の発信、SNS等を活用した市民との情報共有 市のプロモーション強化（市内で活躍する人材のPR、市ゆかりの有名人による市のPR、「いこいな」の活用など） 学生人材や大学施設を活用した地域の活性化

6. 計画を推進するために

後期基本計画では、前期基本計画の考え方を踏まえ、次の4つを基本的な考え方とします。



■みんなでつくるまちづくりの推進

市民がまちづくりの主役として活躍できるよう、市民参加をさらに推進させるとともに、平成20(2008)年2月に策定した「市民活動団体との協働の基本方針」に基づき、市民の意向を反映させながら、市民同士や市民と市が協働で事業を推進する市民協働を進めます。

また、将来的な人口減少や少子高齢社会の到来に対応した地域コミュニティの構築を進めるため、地域を支える人材の育成や活動の支援などを推進します。国は、「一億総活躍社会づくり」の中で、防犯・防災、子どもの見守りなどの、これまでの地域コミュニティにおける自助・共助（相互扶助）の機能に加え、福祉分野における地域コミュニティ（地域住民）の役割を示しました。地域のあらゆる住民が役割を持ち、地域で支え合いながら自分らしく活躍できるコミュニティの育成、公共と協働（連携）した「地域共生社会」の実現をめざしています。

本市においても、「他人事」になりがちな地域づくりを、地域住民が「我が事」として主体的に取り組むしくみづくりを広く支援しつつ、体制づくりを進めます。

■戦略的な行政資源の活用と行財政改革の一体的な推進

基本構想に掲げた「わたしたちの望み〔基本理念〕」と「理想のまち〔将来像〕」を実現するためには、市民ニーズや社会動向、環境の変化を的確に把握したうえで、市民意識調査や施策評価などのしくみを利用して、施策・事業による取組成果を測りながら、政策課題の解決に向けて効果の高い施策・事業に対し、戦略的に行政資源（予算や人員）を配分する必要があります。

重点化する施策等は毎年度策定する実施計画において計画的に取り組むとともに、戦略的な行政資源の配分を行うため、「第4次行財政改革大綱」に基づく行財政改革の取組を着実に推進します。

さらには、行政サービスのオープン化・アウトソーシング等の推進（民間委託・指定管理者制度の活用、自治体システムのクラウド化等）、地方公会計を活用したストック情報を含めた地方財政の全面的な「見える化」など、緊縮的な財政健全化のみならず、地域経済の再生に資する持続可能な自治体経営に取り組みます。

■行政サービスにおけるエリア（圏域）設定の再構築

本市の総人口は平成34（2022）年まで増加した後、ゆるやかに減少していくことが予測されており、更なる少子高齢化の進展に合わせて人口構造も大きく変化していきます。

このような動向を見据えた上で、現在、市が提供している行政サービスや各種ネットワーク体制などについて、各サービスに応じた提供エリアや提供方法を見直し、整理することで、市民一人ひとりが必要とする行政サービスを効率的に受けられる体制の構築を行い、将来の社会の変化に対応したまちづくりを進めます。

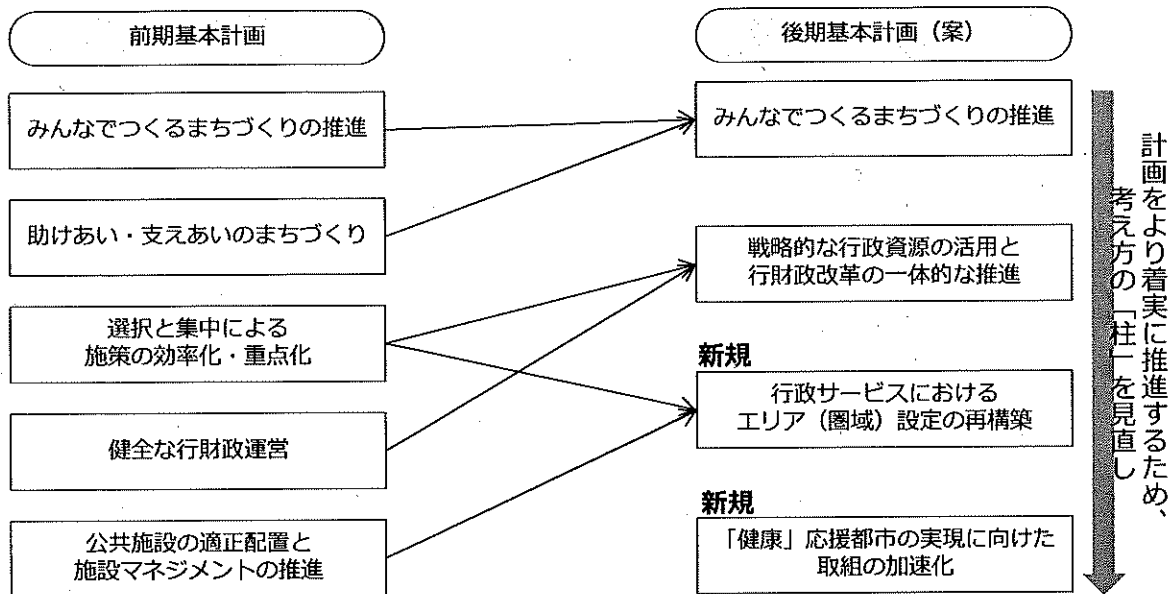
また、既存の公共施設を有効に活用して費用対効果の高いサービスを提供するため、平成28（2016）年9月に定めた「西東京市公共施設等総合管理計画～公共施設等マネジメント基本計画～」に基づき、行政サービスの維持・向上の実現につながる施設の適正配置、安全・安心な施設管理・運営を推進します。

■「健康」応援都市の実現に向けた取組の加速化

平成28年3月に、人口減少・超高齢社会への対応、地域活性化に向け、「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。戦略の基軸には、市民一人ひとりの心やからだの健康はもとより、社会や経済、居住や教育といった生活環境も健康水準を向上させるための要素と捉え、まち全体の「健康」を達成するための「健康」応援都市の実現を掲げ、「住み続けたいまち」「住みたいまち」として選択され続けるための取組を進めています。

基本構想に掲げた「わたしたちの望み〔基本理念〕」と「理想のまち〔将来像〕」を実現するために、本市に暮らす一人ひとりが生涯にわたり、生き生きと暮らせるまちとして継続的に発展していくことをめざし、これまで健康とは関係性が低いと考えられていた基本計画に掲げる全ての分野・施策を含め、健康水準の向上という観点での取組を推進し、「健康」応援都市の実現を図ります。

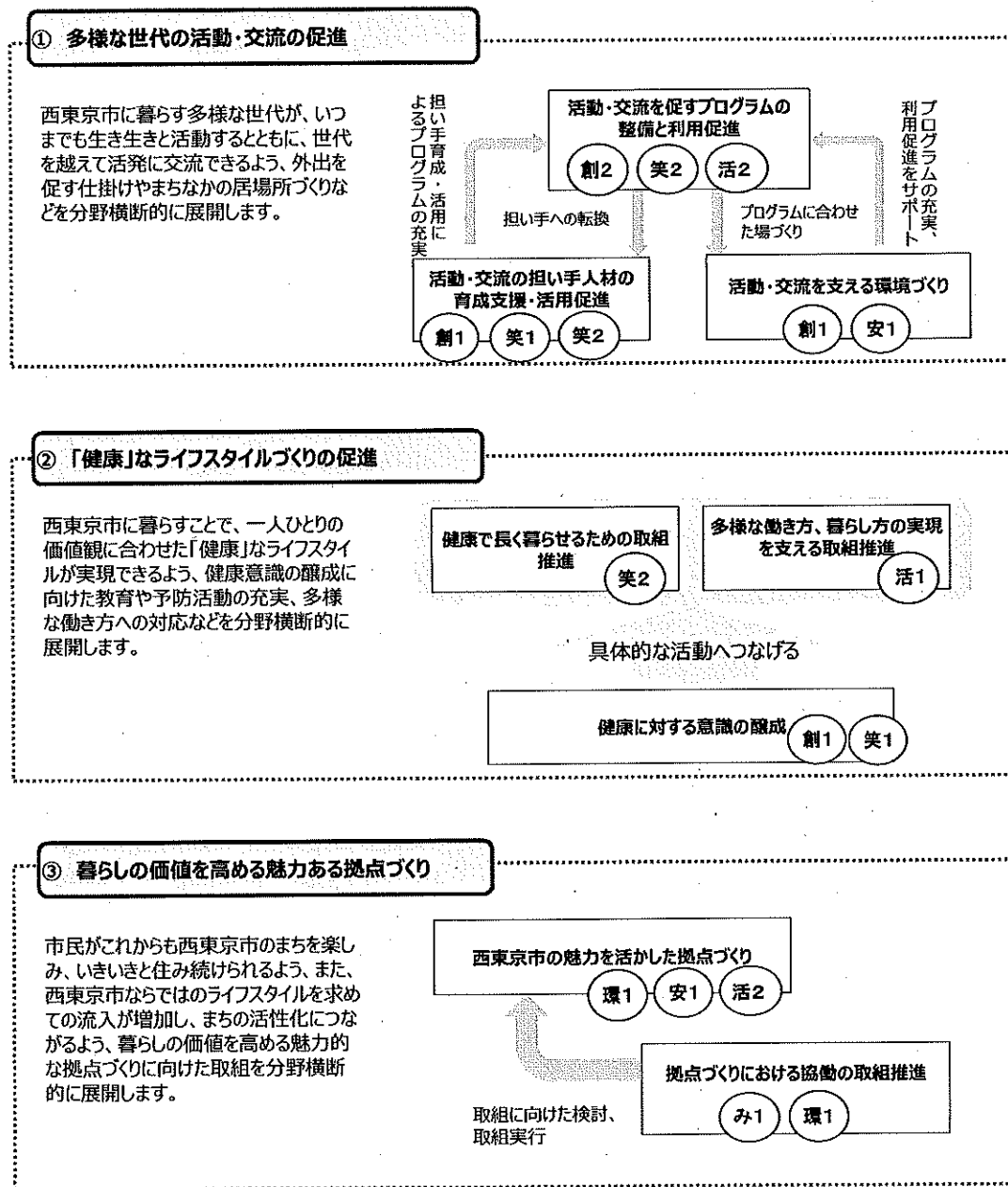
併せて、各施策の展開においては、健康水準の向上のための目標設定や、「健康」応援都市の実現に向けた進行管理を実施するなど、戦略的な取組を推進します。



8. (仮称) 加速化事業グループ

平成28年3月に策定した「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「健康」応援都市の実現を基軸として掲げ、「住み続けたいまち」「住みたいまち」として選択され続けるための取組を進めています。

後期基本計画では、「健康」応援都市の実現に向けた取組をさらに加速化させるため、市民一人ひとりの心やからだの健康はもとより、社会や経済、居住や教育といった生活環境も健康水準を向上させるための要素と捉え、これまで健康とは関係性が低いと考えられていた基本計画に掲げる全ての分野・施策について、施策横断的にまとめることで、「健康」応援都市の実現に向けたイメージの共有化（見える化）を図ります。



各論（活力と魅力あるまちづくり）

活1-1 産業の振興

【施策目標】

市内の農業・商工業を振興し、地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が活発なまちをめざします。

【現状と課題】

- 都心に近い立地でありながら、農地の緑を身近に感じることができるという点は本市の魅力の一つであり、多品目生産が特徴である本市の農業は、市民の食や暮らし、うるおいある生活を支えています。
- しかしながら、後継者不足や農地の相続に関する税制などの影響で、農業者数や農地（生産緑地）面積は年々減少の傾向にあります。また、商業では、商店の廃業などによる空き店舗がみられる一方、工業では、大規模工場の撤退や縮小などにより事業所などが減少しています。
- 今後、農業においては、持続可能な農業経営の環境を整えるとともに、都市農業の多様な機能を適切かつ十分に発揮できるよう、めぐみちゃんメニュー事業の推進や農地の多面的な機能の活用の検討、農家と市民との交流促進など地域に密着した農業の振興に取り組むことが必要です。
- 商工業については、個々の商工業者の経営の維持・発展につながるよう経営診断や相談機能の充実を図るほか、イベントなどの開催や、空き店舗の活用などをとおして商店街の振興を図っていく必要があります。また、市内の中小企業に対する支援を継続し、地域の雇用促進につなげることも重要です。
- これらの多岐にわたる産業振興の取組を進めるにあたっては、市民の暮らしを支えるとともに、地域の価値や市民の愛着を高められるよう、農業・商工業従事者だけでなく、行政や市民、大学、金融機関等の連携を一層強めていく必要があります。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成24年度	平成29年度	平成35年度
市内における農業産出額（農家1戸あたり平均）				
農地面積、農地比率				
「めぐみちゃん」メニュー認定数（累計）				
★市内小売業者の年間商品販売額				

各論（活力と魅力あるまちづくり）

活1-2 新産業の育成

【施策目標】

起業・創業に対する支援を行い、新産業を育て、地域の活性化をめざします。

【現状と課題】

- 「第4次産業革命」とも称される急速な技術革新や、国をあげての働き方改革の推進等により、産業・就業構造は大きな変化を迎えようとしています。
- 本市においても、これまで、多様な働き方へのニーズへの対応及びより魅力的で活力ある地域の創出の観点から、既存産業の振興に加え、住宅との共生が可能な産業であるソフトなもののづくり産業³²を視野に、創業サポートや女性の働き方サポートにも取り組んできました。
- 商工業分野では、大規模工場の撤退や縮小、関連事業所の減少のほか、商店街における後継者や空き店舗の課題がある反面、市内では新たに創業する事業者もみられます。
- このような状況の中、引き続き、西東京商工会による西東京創業支援・経営革新相談センター³³運営や、チャレンジショップ事業³⁴、一店逸品事業³⁵に取り組むとともに、創業サポート施設の利用や女性の働き方サポートをさらに推進する必要があります。
- 新たな産業が根付き、地域の産業としてさらに発展できるようにするとともに、新たなチャレンジができる気運と活力あるまちとなるため、分野横断的な連携により、本市独自の創業支援事業の活用促進に向け、周知を図る必要があります。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成24年度	平成29年度	平成35年度
創業支援事業により起業した件数				
★チャレンジショップ事業を利用して 起業した件数（累計）				
女性の働き方サポートによる起業件数				

³² 情報サービス業（ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業など）、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業（映像情報制作・配給業、出版業など）、デザイン業、機械設計業に加え、西東京市においては、製造業のうち自社工場を持たない企業や研究開発中心型の企業なども対象に含めている。

³³ 平成14年に開設された西東京商工会が運営する機関で、創業・開業をめざしている人、創業・開業後間もない人、経営革新に取り組みたい人などを対象とした相談や講習会などを実施している。

³⁴ 商店街の賑わいの創出、活性化を図る目的のために、市内の空き店舗スペースを活用して、創業希望者を支援する事業

³⁵ 西東京商工会が実施している事業で、モノやサービスなど各店舗独自のこだわりの「逸品」を確立し、入りたくなお店づくりを目指す事業

各論（活力と魅力あるまちづくり）

活2-1 まちの魅力の創造

【施策目標】

自然や歴史、文化などの地域資源を活かし、まちの魅力を向上させるとともに、市内外へのシティプロモーション³⁶に積極的に取り組みます。

【現状と課題】

- 活気あるまちであるためには、市外からも人を呼び込めるような魅力があるとともに、その魅力が十分にアピールされることが必要です。
- 本市は、5つの鉄道駅が存在し、都市計画道路の整備も進められるなど、市外からの交通の便がよく、都心に比べ比較的多く残されています。また、下野谷（したのや）遺跡など、歴史や文化などの地域資源が多くあり、その魅力をアピールする取組を進めています。
- 今後は、東大生態調和農学機構、多摩六都科学館等の地域資源を活かし、市民や大学、民間事業者等と連携した特色あるまちづくりを進め、市内外から人が集まり、多世代が楽しめる場づくりを検討するなど、地域のひとつ・もの・ことの魅力を最大限に引き出し「西東京ブランド³⁷」の構築を進めることが重要です。
- 駅周辺については、地域ごとの特性を踏まえ、にぎわい・交流の拠点としての機能充実に向けた検討を進める必要があります。さらには、駅前情報発信拠点の整備をはじめ、多様な情報媒体を活用したシティプロモーションを積極的に展開することで、まちの魅力の向上を図り、東京2020大会等も見据えた観光まちづくりにも取り組む必要があります。

【成果指標】

指標名	指標の算出方法 又は出典元	実績値		目標値
		平成24年度	平成29年度	平成35年度
「まち歩き」事業に参加した人数 (年間)	「まち歩き観光」や 「みどりの散策路めぐり」などへの参加者数			
★西東京市に住み続けたい、住みたいと思う人の割合	市民意識調査			
東京都及び埼玉県の近郊都市における西東京市の認知率(名前だけでなく特徴まで知っている人の割合)	市民意識調査			
西東京市がプレスリリースしたシティプロモーションに関する記事のメディア掲載率				
★市内5駅の1日当たりの平均乗降客数(定期外)				

³⁶ 地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を発掘し、地域内外に効果的に広報し、それにより、人材、物、資金、情報などの資源を地域内部で活用可能としていくこと

³⁷ 西東京市と他の地域との差別化を図り、地域価値を向上させるために、西東京市の自然・文化・歴史的な地域資源、特産品、地域活動などを活用してできあがる地域イメージの総体を指し、このブランドの確立により、西東京市への誘客や地域経済の活性化につながることを期待されている。